

「社会福祉基礎」:外部講師の授業を行いました

テーマ「コミュニケーションの基礎」

～体験を通してコミュニケーションの本質や方法を理解する～

5月31日(火)6限、3年生選択科目『社会福祉基礎』において、サンビレッジ国際医療福祉専門学校総学科長の金井浩樹先生による授業を行いました。内容は『コミュニケーションの基礎』です。3年2組の科目選択者16名が出席しました。その様子を紹介します。

講義



金井先生は、「福祉の仕事はコミュニケーションの仕事だと言えます。それでは、コミュニケーション能力の高い人、話し上手な人とはどんな人でしょうか？」と生徒に質問されました。生徒からは、「よくしゃべる人」などという答えがありました。ここから、金井先生は、自らの体験を通してコミュニケーション論を講義してくださいました。

十数年前のこと、2週間の現場実習をしていた2人のサンビレッジ専門学校生の悩み事の相談を受けた時の話をされました。実習中の悩みについて延々3時間以上聴き、アドバイスをしたのに、2人は、「先生は私たちの悩みを聴いてくれない」と泣き出して帰ってしまったそうです。その出来事がきっかけとなり、金井先生はカウンセリングの専門の先生のもとで、**カウンセリング**について学ばれました。

研修を受けられた後の冬休みのある日、金井先生が仕事をしていると、1人の学生が「家出をしてきた」と言って相談に来たそうです。1時間ほどその学生の話聴いたところ、「本当に素晴らしいアドバイスをありがとうございました」と喜んで帰っていったそうです。金井先生は、特別な話をしたわけではありません。先生は、学生の話をはたすら傾聴されたのでした。

また、お母さんが病院で診察を受けた時、患者の方を向いて話を聴いてくれた医師をととても信頼することができたけれども、パソコンばかり見て、症状を打ち込むだけの医師には信頼が全く持てなかったというお母さんの言葉も紹介されました。



これらの経験を話された後、**①うなづく、②あいづち、③くり返す、④相手の話しをまとめる**という聴くことの重要性について、プリントも配付しながらお話されました。相手の話にうなずいたり、あいづちをうったりしながら聴き、特に、**③くり返す**の重要性を強調されました。こちらの考えや意見を伝えることよりも、相手の気持ちや感情が表れた言葉を繰り返すことで、相手は自分の気持ちを受け止めてもらえ理解してもらえたという気持ちになるということをお話してくださいました。

授業後の振り返り

➤ 生徒の感想

- ・うなづき、あいづち、心情の繰り返し、そして相手の話をまとめてあげることで、うまく問題解決につながっていくことがわかりました。
- ・今回の講義を聴いて、大切な「あいづち」や「繰り返し」などは、普段の生活で、できているようでできていないことに気づきました。人間というものは、他人に自分の気持ちをわかってもらいたいという生き物だと感じました。相手と向き合っ、相手の気持ちを考えるということを少しでも行くと、何もかもが違って見えることがわかりました。相手と気を合わせるということは、私の習っている合気道の教えにも通じると感じました。今回の講話は、とてもためになる素晴らしいものでした。ありがとうございました。

➤ まとめ

コミュニケーションというと、相手にいかに話すかという自分の話すことに意識が向かいがちですが、本当に相手と意思疎通を図る上では、「聴くこと」がいかに大切であることを教えていただき、大変有意義な1時間でした。話し上手は聞き上手です。**①うなづく、②あいづち、③相手の気持ちや感情が表れた言葉をくり返す、④相手の話しをまとめる**を身に付けることを実践していきたいと思います。

～本校では、ESDを推進し、一人一人の夢を実現するための学びを進めています～